

【2009年(平成21年)】

5月 ルクセンブルクの音楽グループが木島平村を訪問

11月 木島平中学校 10人、引率3人がディーキルシュ市を訪問

12月 アラン・ジョンストン氏が木島平村でアーティストインレジデンスを実施



ルクセンブルク宮殿訪問



在ルクセンブルグ日本大使館訪問



商工会議所訪問



ディーキルシュ中等学校で音楽の授業

【2009年(平成21年)】

【参加者の声】

・ルクセンブルクに行って、まず感じた文化の違いは、食事でした。ホームステイをして、出された食事はどれも日本とは違い、その中でもお米は全く違いました。他にも食べ物ではなくて、食事をする前と後の挨拶が違いました。日本では、当たり前のように言う「いただきます」「ごちそうさま」をルクセンブルクでは言わず、少し戸惑うことがありました。

次に思った文化の違いは、自動販売機です。日本ではお札と小銭のどちらも使うことができますが、ルクセンブルクでは、コインを入れるところしかなく、お札は使えませんでした。でも似ているところも幾つか見えました。それは、自然です。ルクセンブルクも木島平村と同じように、とても自然豊かで、ずっと見ていたら木島平村に似ていると思いました。それまで緊張していましたが、それを見たら安心して、緊張も和らぎました。その後からだんだんとコミュニケーションがうまくできるようになり、自分から質問することもできました。私のホストファミリーはとても優しく明るい人だったので、会話が弾み、いろいろなことが話せてよかったです。

ルクセンブルクでは、行く前にあった疑問や知りたかった文化の違いなど、思っていたことをしっかりと学ぶことができました。家でも外でもいろいろなことが学べて、とてもよい思い出になりました。特にホームステイはとても貴重な体験で、前よりも自信が付いたので、これからの生活に活かしていきたいと思いました。

・私のホストファミリーは、私と初めて会ったのに、明るい笑顔で迎えてくれました。ホームステイをするのは不安で、コミュニケーションをとるまで問題もありましたが、文法がわからないので、単語をつなげて話したら理解してくれ、わからないときは優しく教えてくれました。始めのうちは不安で言葉に出せませんでした。2日目になると、いろいろ質問したり、コミュニケーションをとったりすることができました。

また、インターネットを使って、日本の伝統的な芸能や物などを紹介しました。すると私のホストシスターのルアーナの好きな芸能人を見せてくれたり、ヨーロッパの伝統を私に紹介してくれたりし、日本とヨーロッパの違いを感じながら会話を膨らませることができました。

ルクセンブルク語	発音	意味
Moien	モンエン	こんにちは
Addi	アディー	さようなら
Merci	メルシー	ありがとう
Gutt	ゲーットウ	元気です
Main nuum as	マイン ヌム アス	私の名前は～です
Wei geetet	ヴィー ゲーテット	はじめまして
Jo	ヨー	はい
Nee	ネー	いいえ